

進学準備教育2年課程

レベル設定	参照 枠	総合日本語	聴解	読解	話す	書く	語彙基礎／応 用	進路別対策 (大学／大学 院／専門学 校)
初級Ⅰ EⅠ(ElementaryⅠ)	A2	○	－	－	－	－	○	－
初級Ⅱ EⅡ(ElementaryⅡ)	A2	○	－	－	－	－	○	－
初中級 PI(Pre-Intermediate)	A2	○	○	－	－	－	○	－
中級Ⅰ IⅠ(IntermediateⅠ)	B1	○	○	○	○	○	○	○
中級Ⅱ IⅡ(IntermediateⅡ)	B1	○	○	○	○	○	○	○
中上級 PA(Pre-Advanced)	B2	○	○	○	○	○	○	○
上級Ⅰ AⅠ(AdvancedⅠ)	B2	○	○	○	○	○	○	○
上級Ⅱ AⅡ(AdvancedⅡ)	B2	○	○	○	○	○	○	○

進学準備教育1年6か月課程

レベル設定	参照 枠	総合日本語	聴解	読解	話す	書く	語彙基礎／応 用	進路別対策 (大学／大学 院／専門学 校)
初級Ⅰ EⅠ(ElementaryⅠ)	A2	○	－	－	－	－	○	－
初級Ⅱ EⅡ(ElementaryⅡ)	A2	○	－	－	－	－	○	－
初中級 PI(Pre-Intermediate)	A2	○	○	－	－	－	○	－
中級Ⅰ IⅠ(IntermediateⅠ)	B1	○	○	○	○	○	○	○
中級Ⅱ IⅡ(IntermediateⅡ)	B1	○	○	○	○	○	○	○
中上級 PA(Pre-Advanced)	B2	○	○	○	○	○	○	○

授業科目の内容

総合日本語	1つのテーマに対し、「読む、聞く、書く、話す」の技能を組み合わせることで総合的に日本語を理解、運用し、実社会でのタスクを達成する力をつけます。 ・タスクに必要な文法、表現を理解し、覚えます。 ・学んだ表現を使って、様々なタスクを達成するための話す、聞く練習をします。話す練習は、ペアやグループで行い、他の人と日本語を使って協働することを通して、実践的な練習をします。 ・自分の考えを日本語で適切に表現する方法を学び、まとめた内容を話す、書く練習をします。
聴解	日常の会話で、相手の話が理解できるレベルから、大学の講義を聞いて理解することができるレベルに至るまで、様々な場面での聞く力を伸ばします。 初中級では、単語や短い文を聞いて意味を理解する練習から行い、中級ではニュースなどを聞いて、その要点を聞き取る練習をします。上級では、大学等の講義に参加することを意識し、メモを取ってまとめる練習などを行います。
読解	日常生活で必要なお知らせやメール、新聞などの記事の理解から、大学等で読む専門的な文書の理解まで、読む力を伸ばします。 中級では、様々なタイプの文章を読み、正確に理解する練習を行い、上級では徐々に長い文章を読み、要約したり、書かれている内容から自分の考えを持つ練習を行います。また、理解するだけでなく、読んだ内容の感想を述べたり、情報をまとめて考察する等、読んだ内容を運用する力を付ける練習も行います。
話す	日常生活で必要なやりとりや交渉から、社会的なテーマについてのディスカッション、プレゼンテーションまで、話す力を伸ばします。 中級では、自分が言いたいことをどのように話せばいいか、を準備してから話す練習を積み重ねて、自由に話せるまでの練習を、ペアやグループの活動を中心に行います。また、身近なことについて人前で話す、スピーチの練習を行います。 上級では、社会的なテーマや課題について、より詳細な描写を自然に話せるように、グループワークや対立討論なども取り入れて練習します。また、自分が関心があるテーマについてのプレゼンテーションの練習を行い、大学等に進学後にスムーズに専門の勉強ができる力を身に付けます。 また、相手(友達、目上の人、等)に合わせた言葉遣いの違いを学び、適切に運用する練習をします。
書く	大学等の入学で必要な小論文が書けることから、入学後にレポートや報告書が書けることまで、まとめた文章を書く力を伸ばします。 中級では、自分の経験などの事実を書くことから始め、簡単な構成に当てはめて意見文を書く練習を行います。上級では、自分で効果的な構成を作り説得力のある文章を書く練習などを行い、大学等の入学に必要な、効果的な志望理由書の書き方も練習します。 単に書く練習をするだけでなく、クラスメートと相互に読み合うことで読む人の視点を意識する練習や、読む人や目的に合わせた言葉の使い方など様々な視点から練習をします。
語彙基礎／応用	母語で漢字を使用している人と、日本語で初めて漢字を学ぶ人それぞれに合ったカリキュラムで漢字・語彙を学びます。 初めて漢字を学ぶ人は、漢字の成り立ちや読み方、などを学び、関連する語彙を読む、書く練習をします。 母語で漢字を使用している人は、母語との違いや日本語での用法、発音を学び、「見てわかる」だけでなく「聞いてわかる」「使える」ようになるための練習をします。 上級では、母語での漢字の有無を問わず、全員同じクラスでより高度な語彙の理解・運用を学びます。
進路別対策(大学／大学院／専門学校)	日本語学校修了後の希望進路に合わせ、入学するために必要な技能を身に付けます。 【大学】 ・EJUで得点を取るために、聴解、聴読解、読解、記述の練習をします。単に与えられた問題が解けるだけでなく、そのために必要な語彙や技術、パターンごとの解き方など、細かい部分まで練習します。 ・大学が独自に実施する入学試験に対応するために、長く複雑な文章を読む練習や、要約など書かれたことをまとめる練習を行います。 ・EJUや入学試験の練習で身に付けたことを、大学入学後に生かすために、実践的な練習を行います。 【大学院】 ・研究計画書を日本語で書くために、自分の研究テーマを日本語で説明する練習をします。また、研究計画書に必要な語彙や表現を学びます。 ・自分の専門分野についての説明、プレゼンテーションや、意見を書く練習をし、入学試験の面接や小論文に対応する力を付けるとともに、入学後の研究を行う基本となる日本語力を身に付けます。 ・大学院の入学要件で求められるJLPTのN1またはN2に合格するための、知識を付ける練習も行います。 【専門学校】 ・専門学校の入学要件で求められるJLPTのN2に合格するために、読解、聴解、言語知識の練習をします。 単に正解を選ぶだけでなく、専門学校入学後に専門の勉強がスムーズに行えるよう、必要な日本語の知識を身に付けます。